



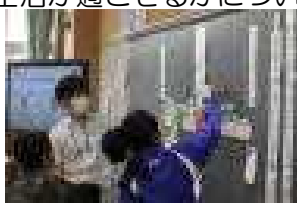
「ひとはだめぐ行動」に期待！

～まずは、「進んで行動」から～

「ひとはだめごう」の合言葉は、児童、職員、保護者の皆様にだいぶ浸透したかと自負しています。具体的な児童の行動として、「①進んで行動 ②進んであいさつ

③進んで『ちょボラ』」が3つの視点です。「①進んで行動」ができれば、②・③もできるはずです。「進んで行動」には学習面・生活面の二つで期待しています。

学習面では、進んで自分の思いや考えを表現する行動です。自分の考えに自信がもてなかったり、間違えたらどうしようと不安になったりしないで、自分の思いや考えを発表できるようになって欲しいです。そのためには、「児童一人一人の心掛け」と「発表しやすい学級の雰囲気」が大切だと考えています。本校では、どの学級も児童にとって「心の居場所」になれるように学級づくりを進めています。居場所づくりには、児童同士がどうすれば一人一人が気持ちよく学級生活が過ごせるかについて、話し合ったり、レクリエーションを行ったりして、少しずつつくりあげられていくものです。居場所づくりが進むほど、自信をもって発表できる児童が増えてくると信じています。



生活面では、校訓の初めの「ひとのために」を大切にしてもらいたいです。ゴミが落ちていたら拾ってゴミ箱へ捨てる、友達が荷物を運ぶのを手伝う、花壇の水かけをする、友達に消しゴムを貸してあげる、わからないところを教えてあげるなど、友達のため、学級や学校のために、小さなことでもいいから進んで取り組んでもらいたいと思います。

コロナ禍での「不易と流行」

コロナ禍となり「GIGAスクール構想」

が進められ、本校でも全児童にタブレットPCが渡され、通信環境が整えば、家庭でも「学びの保障」ができる状況です。

現在、ICT機器は必須の便利ツールです。それを使って子供の学ぶ心に火を灯していく、そして深い理解に導くことができるのは、我々生身の教員しかできない取組であると考えます。そこに、「学校」の存在価値があるのではないのでしょうか。PCやタブレットだけの授業ではできないもの、それが「教育は人なり」と言われる所以であり、そこに小学校教育の醍醐味があると思います。



このような時代だからこそ、我々教員としての持ち味である「人間味」を大切にしたいものです。子供と同様、自ら主体的に考え、共に学び行動することができ、また共に感動することのできる教員が改めてもとめられるのではないのでしょうか。

コロナ禍だからこそ、変えるものと変わらないもの、それぞれを見極める力がが必要です。今、あえて「不易と流行」という言葉を胸に、日々の教育活動に取り組んでまいります。

授業参観・PTA総会・学年懇談会への参加をお願いいたします。



24日(土)に授業参観・PTA総会・学年懇談会への参加をお願いいたします。授業参観は、入学後、進級後初めて観ていただく授業になります。お子様の学校での生活の様子を直接観ていただく貴重な時間です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、PTA総会は今年度のPTA活動の計画を知る貴重な機会です。PTA会長様からは、今年度のPTA活動への協力等についてお話があると思います。私からは今年度の学校経営方針について話させていただきます。学年懇談会では、学年の方針や行事予定等について説明があります。学校でも感染予防対策や距離を保った参観等をお願いしますが、**どれも今年度の方針や方向性を示す大切な機会**ですので、御理解・御協力をお願いいたします。